

## エネルギー研究会の活動事例

エネルギーに関連するテーマは、広範囲に及ぶので我々は焦点を絞り、おもに次の課題に対して調査、情報提供、企業様との連携を進めています。

1. 中小企業様に対する「カーボンニュートラルに関する情報提供、活動支援」
2. カーボンニュートラルに寄与する再生可能エネルギー、特に太陽光発電事業、風力発電事業に関する中小企業様との連携
3. 電力エネルギーの利用に大きな影響を持つ自動車向けおよび定置用2次電池の動向調査および中小企業様への情報提供
4. 将来のエネルギーソースに大きな影響力を持つ「水素・アンモニアサプライチェーン」の動向調査と「水素社会構築」をめざした活動

### 1. カーボンニュートラルに関する情報提供、活動支援

2022年頃から、大企業、特にグローバル事業展開をしている大手企業から、取引先企業に対してカーボンニュートラル(CN)に関する取組み状況のアンケート調査が始まり、2023年には、実際行っている取組みについての調査が寄せられるようになりました。

この状況を踏まえ、当研究会では、具体的事例を調査、その対応について検討した結果をとりまとめ、個別企業様にその取引先企業から来た調査アンケート回答についてアドバイスを行うとともに、一般化した結果を「CNにいかに取り組むか」というタイトルで特定支援会員様向けセミナーにおいて公開しました。

### 2. 太陽光発電事業、風力発電事業に関する中小企業様との連携

CN推進の重要な施策の一つが再生可能エネルギーの導入促進です。その中でも太陽光発電と大型風力発電がポイントになります。太陽光発電については、設置適地の減少への対応策、例えばカーポートソーラー、垂直型ソーラーを導入および日本発のペロブスカイト太陽電池の動向調査を行い、関係する企業様へのフィードバック等を実施しました。

また大型風力発電に関しては、ラウンド3まで進んできている洋上風力の動向をウオッチすると同時にサプライチェーンの構築に関するプラントメーカーの要求を調査し、関係部門へのフィードバックを行いました。また陸上風力も含めてO&M分野の中小企業のビジネス機会に関して調査活動を行い、実際の支援活動に結び付けました。

写真は、支援先中小企業様と共同調査した風力発電所風景です。

### 3. 自動車向けおよび定置用2次電池の動向調査および中小企業様への情報提供

自動車および業務用定置型2次電池の開発は、昨今ますます多岐にわたると同時に実用化の困難度もましてくれています。この状況を的確に把握し、整理した形で中小企業様へ提供できるように調査を継続しています。

リチウムイオン電池においては資源の確保やその安全性の担保に関する問題からこれまでの主力であった3元系から、ほかの陽極材への転換、バイポーラ型など構造の改良がおこなわれています。また、全固体電池、半固体電池、全樹脂電池など安全性の抜本的改善を目指す電解質材料の追求やNaイオン電池などの新型2次電池の開発なども活発で、2次電池をめぐる状況の変化に目を離せません。

当研究会では、各メンバーが広く情報を収集し、常に最新の動向を把握、分析しています。

### 4. 「水素・アンモニアサプライチェーン」の動向調査と「水素社会構築」をめざした活動

CN実現に対する一つの理想的解決案は「水素社会構築」であることは論を待ちません。

今年度は、CNに寄与する製品の開発をGo-Tech事業を活用して行う企業様の支援を3か年計画で始めました。商品化まで結びつけたいと期待しています。

「水素社会の構築」は、企業だけの努力では成し遂げられません。地域全体を巻き込んだ施策の展開やそれを横断したサプライチェーンの構築が必要です。この視点から当研究会では、地方や地域公的機関との意見交換や連携を積極的に進めています。九州、近畿、関東の地方経産局や县市町の地

域公的機関との情報交換を長期的な視点から行っています。  
以上、概括的ですが我々の活動の一端をご紹介いたしました。より具体的な内容につきましては、お問い合わせいただければ、幸いです。

補足資料(写真)

支援先企業と合同調査した「ウインドファームつがる風力発電所」3,200kW×38基

